

海老干潟モニタリング調査

—干潟の生物観察—

平成 年 月 日

テキスト



目 次

1. 調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 調査内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 調査票の記入・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4. 調査結果のまとめ・・・・・・・・・・・・ 7
5. 干潟の調査で注意すること・・・・・・・・ 8

えびひがた
海老干潟をみんなで歩きながら、干潟に住む生物の観察を
かんさつ
行います。

1. 調査目的

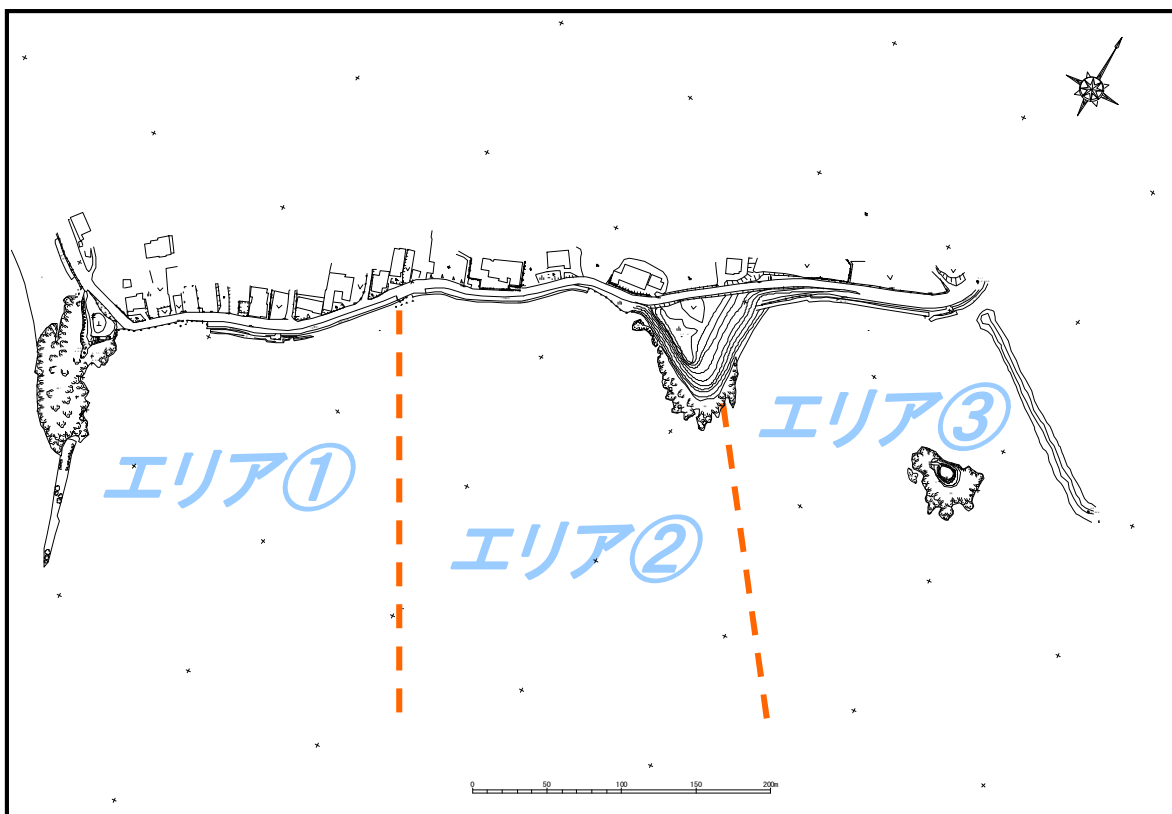
この調査は、海老干潟の生物について知ることを目的として行います。

- ④ 海老干潟では、どのような生物が、どのような場所に生息しているのだろうか？
- ④ 砂や泥、石などの干潟の表面の状態と、生物の関係はどうなっているのだろうか？
- ④ 生物の分布やそれらが生きている環境のことが分かったら、『海老干潟の生きものマップ』を作ろう
- ④ 以前に作成した『海老干潟の生きものマップ』と比べてみよう。見つけた場所や生物に何か違いがあるかも知れません

2. 調査内容

1) 調査の範囲

海老干潟全体を知るために、調査は干潟全域で行います。
調査は、干潟全域を3つのエリアに分け、3つの班がそれぞれのエリアを調査します。



へいめんす
海老干潟平面図

2) 観察する生物

各班は、干潟を歩きながら、『指標生物^{しひょうせいぶつ}』やその他の生物を観察します。

①指標生物

海老干潟に生息する生物のなかで、干潟でよく見られ、わかりやすく、貴重^{きちょう}な生物とされている、次の3種を『指標生物』としました。



スナガニ

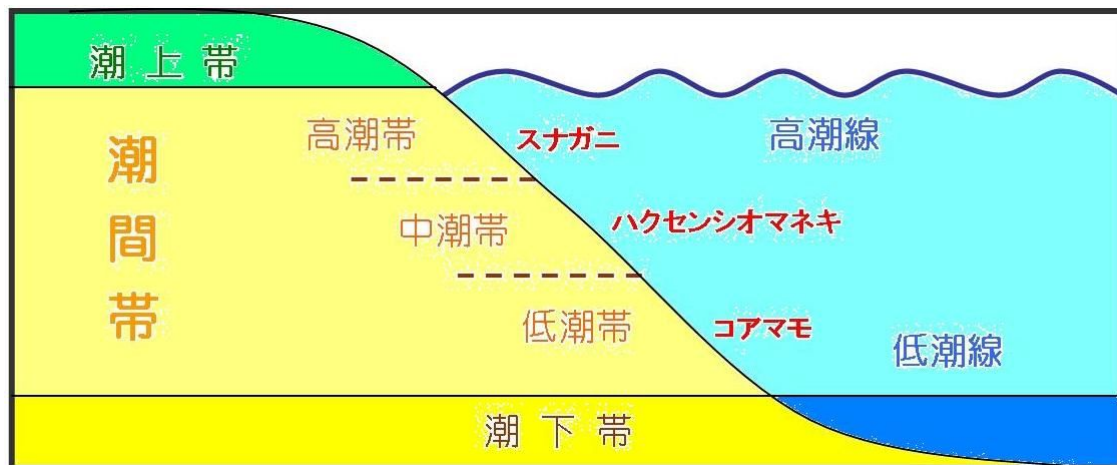


ハクセンシオマネキ



コアマモ

これらは、下の図に示す高潮帯、中潮帯、低潮帯を、それぞれ代表する生物でもあります。



ちょうかんたい
潮間帯と生物の生息場所

②その他の生物

海老干潟には、指標生物以外にも、さまざまな生物が生息しています。

どんな生物が生息しているか、調べてみましょう。

3) 干潟の表面の状態 ^{ていしつ}—底質—

干潟や海の底の泥などを専門の言葉で『^{ていしつ}底質』といいます。
海老干潟の底質はどのようになっているのでしょうか。

干潟全域で同じような状態でしょうか？

それとも場所によって違いがあるのでしょうか？

実際に調べてみましょう。そして、底質と生物の生息との間に、どんな関係があるか考えてみましょう。

底質は、目で見て、次の4種類に分類します。



①泥



②砂泥



③砂（砂、小石まじりの砂、粒の粗い砂）




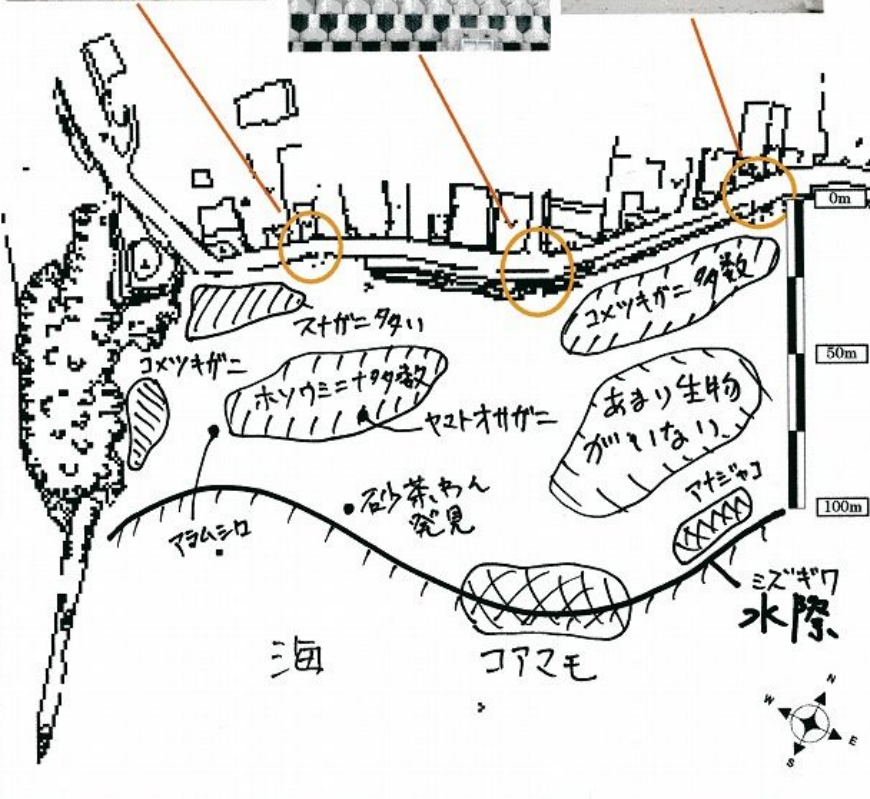
④石まじりの砂

3. 調査票の記入

干潟を調査しながら、調査票に観察結果を記入します。

◎調査票の記入例

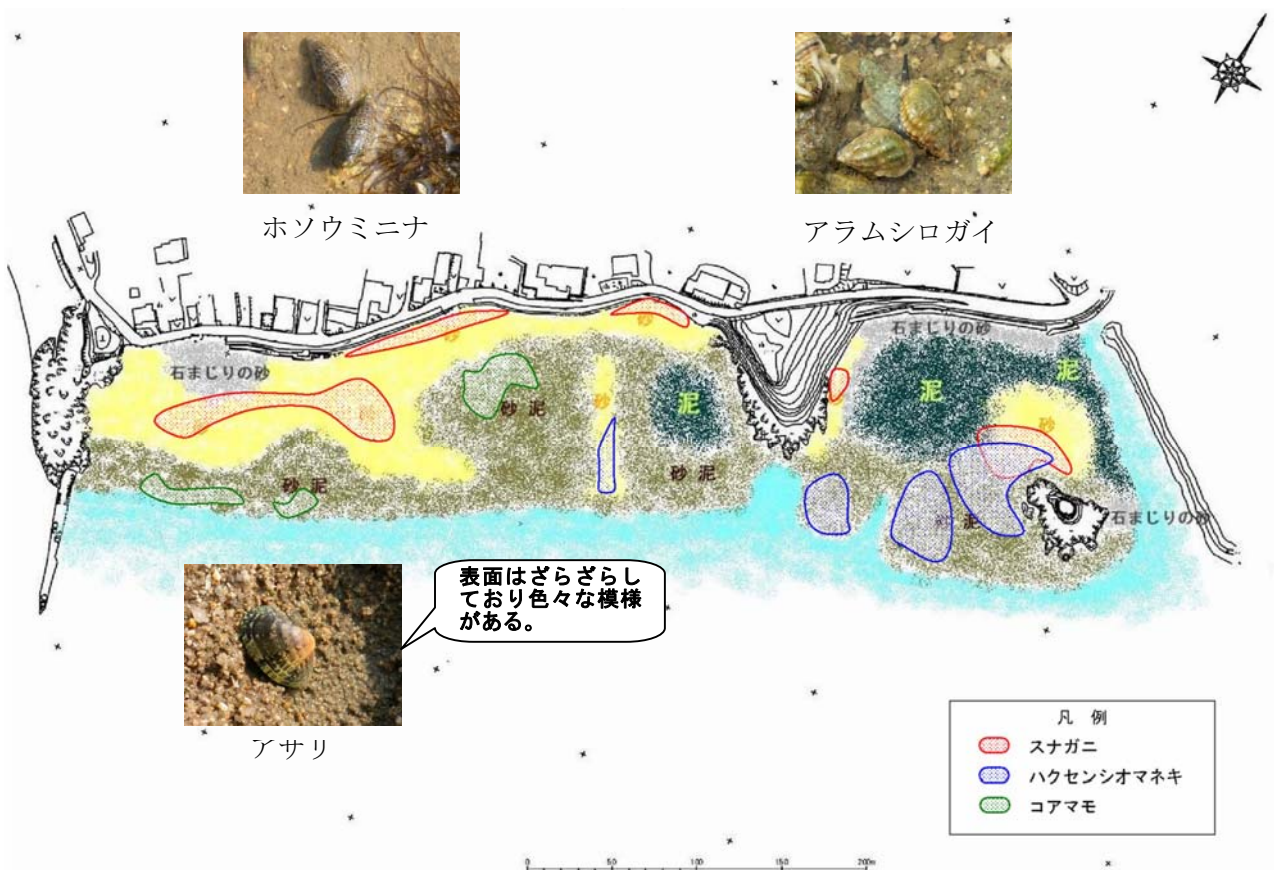
調査票（海老干潟の生物観察）

名前	干潟 海老太郎（3 班）	天気	晴れ
調査日	平成 19 年 10 月 9 日	調査時刻	14:00 ~ 16:00
調査範囲	エリア 1（海老干潟西側）		
目印			
平面図			
備考 (底質など)	<p>底質は石少がほとんどだった</p> <ul style="list-style-type: none"> エリアの中央で道路から50mくらいは石まじりの石少だった エリアの西側は泥が多かった コアマモ場の中にアサギのぬか草がたくさんあった 		

4. 調査結果のまとめ

調査票を整理して、調査結果をまとめましょう。

- 📍 干潟の生きものマップを作ろう
- 📍 底質と生物の関係を考えてみよう
- 📍 海老干潟に生息している生きものを調査して感じたことを整理しよう
- 📍 今までと何か変わってないかな？



生きものマップイメージ

(指標生物である3種に加えてその他の主な生物も入れる)

5. 干潟の調査で注意すること

❖ 干潟を走りまわらない

❖ ^{どく}毒を持つ生物にさわらない

→クラゲ、ハオコゼ、アカエイなど

❖ アオサや岩の下などにむやみに手を入れない

→ハオコゼなど危険な生物がいる可能性があります

❖ 干潟をむやみに掘り返さない

→干潟はみんなのものであります。海老干潟では漁業者の方がアサリを育てています

❖ ^{ぼうし}帽子をかぶり、水分をこまめに^{ほきゅう}補給する


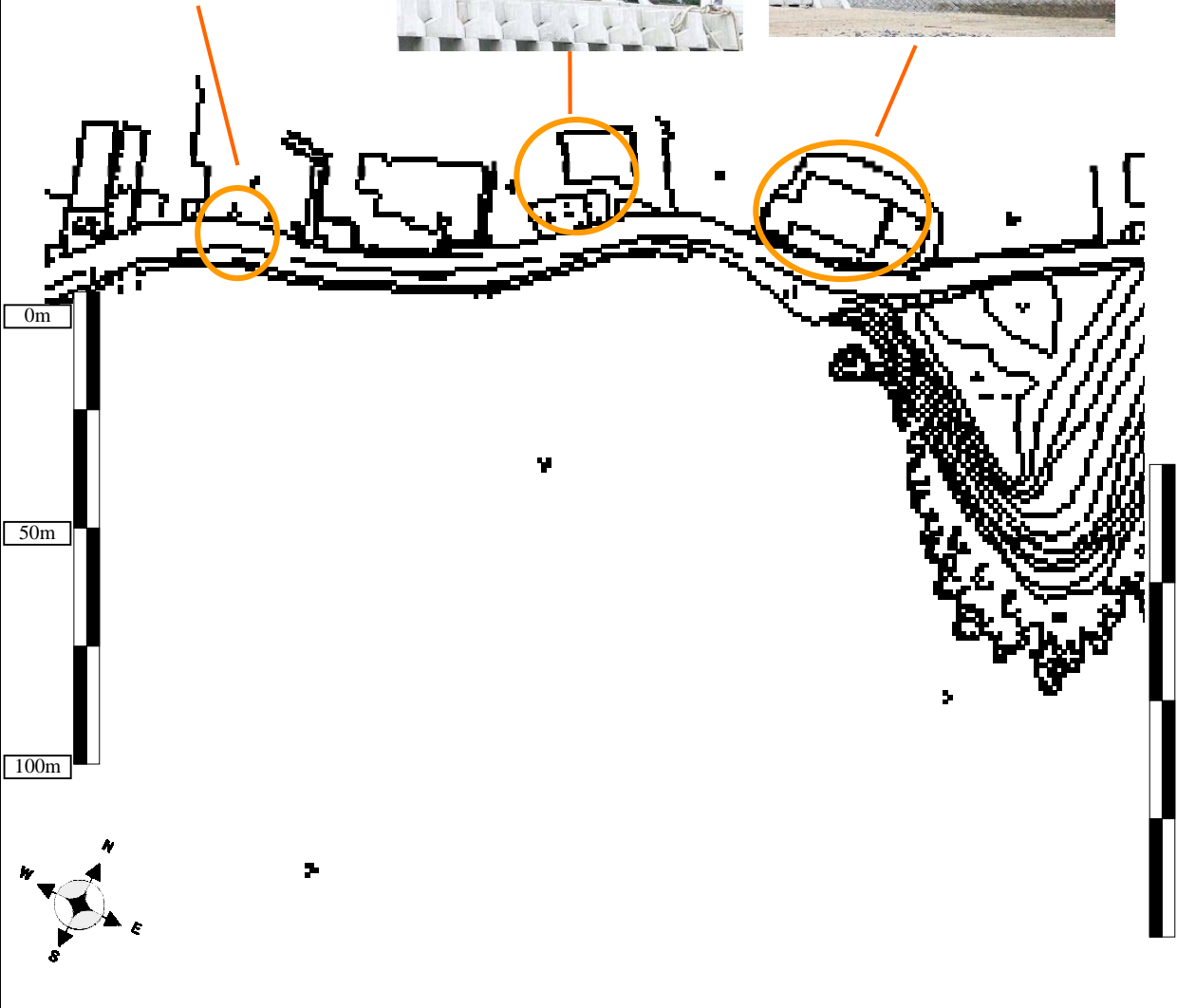
❖ ^{ながぐつ}長靴を履く（はだしやゾウリは×）

❖ 気分が悪くなったらすぐに先生に言う


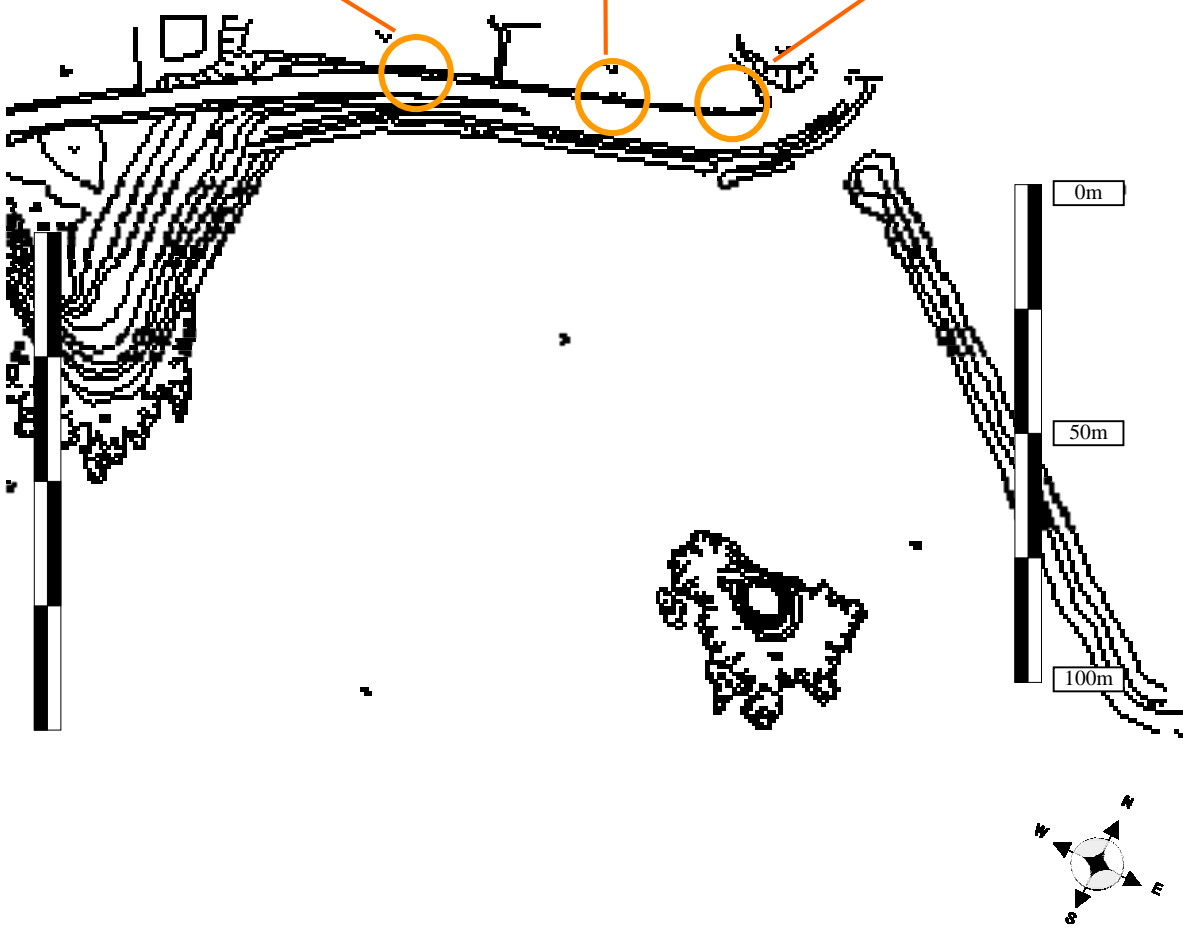
調査票（海老干潟の生物観察）

名 前	(班)	天 気	
調査日	平成 年 月 日	調査時刻	: ~ :
調査範囲	エリア1（海老干潟西側）		
目印			
平面図			
備考 (底質など)			

調査票（海老干潟の生物観察）

名前	(班)	天気	
調査日	平成 年 月 日	調査時刻	: ~ :
調査範囲	エリア2（海老干潟中央部）		
目印			
平面図			
備考 (底質など)			

調査票（海老干潟の生物観察）

名 前	(班)	天 気	
調査日	平成 年 月 日	調査時刻	: ~ :
調査範囲	エリア3（海老干潟東側）		
目印			
平面図			
備考 (底質など)			

海老干潟で見られる主な生物

エビやカニのなかま



スナガニ【指標生物】



ケフサイソガニ



ヒライソガニ



コメツキガニ



オサガニ



ハクセンシオマネキ【指標生物】



アナジャコ



ニホンスナモグリ



ヤドカリのなかま



シロスジフジツボ

貝のなかま



アラムシロ



ホソウミニナ



ツメタガイ



アサリ



マテガイ

その他の生物



コアマモ【指標生物】



アオサ



砂茶わん(ツメタガイの卵)



ミミズハゼ



ゴカイのなかま

